

- PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通じ、12カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
  - PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](http://PETZL.COM) からダウンロードできます。

## グリヨン

### ユーザー情報

氏名

住所

ユーザーID

### PPE情報

製品名

個別番号

製造年

購入日

初回使用日

製造者: Petzl, ZI Cidex 105A - 38920 Croles - France



異常なし (G)



注意が必要 (TM)



修理が必要 (TR)



使用不可、廃棄 (R)

N/A

該当なし

### 1. 製品履歴の把握

使用状況、使用中に生じた特殊な状況 (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等):



### 2. 予備的観察

- 個別番号と CE マークが付いていること及び判読できることを確認してください。
- 耐用年数が過ぎていないことを確認してください。
- 新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

### 3. ランヤードの末端の点検

- ランヤードのコネクターを外してください (可能な場合)。
- 保護スリーブの状態 (ひび、変形等) を確認してください。可能な場合、ランヤード末端のスリーブを移動させて、縫製箇所の状態を確認してください。安全に関わる縫製の状態を両側について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。
- ロープの2つのアタッチメントホールの状態を確認してください。

### 4. ロープの点検

- 調節器のサイドプレート固定用スクリューを外して、グリヨンからロープを取り出してください。
- 外皮に使用による摩耗や損傷 (切れ目、毛羽立ち、化学製品との接触による損傷等) がないことを確認してください。保護スリーブをずらして、ロープの状態を全長にわたって確認してください。
- ロープ全体を手に通し、芯の状態 (かたい箇所、膨張、柔らかいまたは潰れた箇所等) を点検してください。
- 必要に応じてロープを廃棄して、『グリヨン』交換用ロープと交換してください。

### 5. コネクターの点検

- コネクターの点検については、そのモデルの点検フォームを [Petzl.com](http://Petzl.com) から参照してください。

### 6. フレームの点検

- フレームおよびサイドプレートの状態 (傷、変形、汚れ、ひび、腐食など) を確認してください。サイドプレートが適切に開閉することを確認してください。
- アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。
- カムの溝の状態およびカムの動きが妨げられない (スプリングは内蔵されていません) ことを確認してください。器具の中に異物 (泥、砂等) がないことを確認してください。
- ハンドルの状態 (傷、変形、ひびなど) を確認してください。ハンドルのスプリングの戻りを確認してください。
- リベットおよびサイドプレート固定用スクリューの状態を確認してください。
- ロープの向きに注意して、器具の中にセットしてください。サイドプレート固定用スクリューを取り付けてください。

### 7. コネクターの取り付け

- コネクターを交換 (EN 362) する際は、プラスチック製保護スリーブがコネクターを適切な位置に維持していることを確認してください。

### 8. 機能確認

- 器具をハーネスにセットした状態で機能確認を行ってください。支点側のロープを引き、器具がロープをロックすることを確認してください。

コメント (確認された不具合や取られた処置について詳しく記入してください)

#### 評価

使用を継続することができる
使用を継続することができない

#### 点検者

団体名	次回点検日
日付	